



石東中だより

平成24年度4月12日

発行者：練馬区立石神井東中学校

校長 堀井安伸

新入生へのお祝いの言葉（入学式式辞より）

校長 堀井安伸

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ただ今、元気よく返事をしてくれた159名の皆さんは、今日から伝統ある石神井東中学校の生徒です。教職員、上級生とともに、心から歓迎いたします。

本日の出発にあたり、二つのお話をいたします。

第一は、皆さんは、小学校の卒業式で自身の夢や目標を発表していましたね。どの発表もとても素晴らしいものでした。明確な夢や目標がある人は、とても輝いていています。そして、必ずその人の良さを最大限に引き出し、さらに人としても大きく成長していきます。そこで、皆さんも知っている「なでしこジャパン」。キャプテンの澤穂希選手のこともよく知っていることでしょう。澤選手が「世界のトップになりたい」という明確な夢を持ち続け頑張ってきたことも日本中のだれもが知っています。その姿は、見る人の心を感動させ勇気と希望を与えてくれました。本校の卒業生に先月のアルガルベ杯で代表選手として復帰し、活躍した選手がいます。伊藤香菜子選手です。伊藤選手は、いったんは体調不良で引退しましたが、「サッカーをやりたい気持ちが強くなった」と困難を乗り越えて、再び現役に復帰し代表に選ばれたそうです。本校の卒業生が世界で活躍しているというのは、とてもうれしく誇らしく思いませんか。皆さんも自分の夢や目標を大切にし、その実現に努力してください。今抱いている自分の夢や目標を忘れることなく毎日の学校生活を有意義に過ごしてください。

第二は、学校は集団生活の場です。集団生活では、いろいろな人がいます。自分とは、体格や、性格、考えかたや物事のうけとめかたが違ってきます。それが当たり前です。違うからといってせめたり、仲間はずれにしていたら集団生活などできません。さらに、いじめるなんて

もつてのほかです。いじめは集団生活を壊すとともにその人の人権を侵害することになり絶対に許されることではありません。

それよりも、いろいろな人がいるからこそ自分とは違う考え方や違う発見ができ、たくさんを知ることができるのです。他人の自分とは違う部分を認め合い学び合うことによってバランスのとれた成長ができるのです。だから、集団生活が必要なのです。だから、友達は大切なのです。

そして、互いに認め合い、助け合う人間関係は、その集団の夢や目標達成の速度を速めます。皆さんの夢や目標を達成するためには友達を大切にすることが一番の秘訣なのです。

日本人は、昨年の東日本大震災で、辛く悲しい思をしました。しかし、日本人は、「絆」という大切な宝を再発見しました。そのことは皆さんも知っていると思います。人が人を大切にしている姿は、美しいと思いませんか。皆さんもクラスや学年、学校で「絆」を大切にしたい学校生活を送ってください。

以上、自分の夢や目標を大切にすることと、違う個性をもった友達を大切にすること、この二つを、皆さんの晴れの入学式でお願いしました。明日からの学校生活が楽しみです。

終わりにになりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。中学校の三年間は、生涯の中でも心身の発達がもっとも顕著である上に、アンバランスな時期でもあります。それだけに、今後のお子様の養育には様々な問題が予想されますが、ご家庭と学校が生徒の健やかな成長を願うという共通の視点に立ち、共に学びあい、手を取り合って前進したいと考えております。なにとぞ、学校の方針にご理解またご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、新入生の皆さんの幸せな中学校生活を祈念し、式辞といたします。

今年度もよろしく願いいたします。ご意見をお寄せください。03-3996-2158
ホームページ：<http://www.shakujii-e-j.nerima-ky.ed.jp/>